

これまでの検討経過

○滝川市小・中学校適正配置計画

【全体計画：H23 年度～32 年度までの 10 年間】（H22 年 11 月策定）

- ・滝川市の学校の適正規模を定義した。
- ・原則として、学校の適正規模を下回ると判断できる場合は、統廃合に取り組む。
- ・「小学校 5 校での再編、中学校 2 校での再編」を目標とする将来像とした。

滝川市の適正規模：小学校 12～18 学級（各学年 2～3 学級） 中学校 6～18 学級（各学年 2～6 学級）

◎江部乙中学校～通学時間の負担が増すことなどから当面は存続とするが、今後のあり方について早い時期からの検討を進める。

【後期計画：H28 年度～32 年度までの 5 年間】（H28 年 1 月策定）

- ・小学校 5 校、中学校 2 校での再編、学校の適正規模についての考え方は変更なし。
- ・後期 5 年間は、新たな統廃合は実施しない。各学校の具体的な方向性を示すための準備期間。

◎江部乙中学校～1 学年 1 学級で適正規模を下回る状況。今後も生徒数が減少し、50 人以下となるため、「隣接校との統合の適否」等の視点で検討を進める。

○江部乙地区における懇談会

- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| ①H28.7.15 江部乙小・中 P T A 役員 | ②H28.8.31 江部乙小・中 P T A 役員 |
| ③H28.11.24 江部乙小・中保護者 | ④H29.1.25 江部乙小・中保護者 |
| ⑤H29.8.10 江部乙商工会役員 | ⑥H29.10.26 江部乙中同窓会役員 |

【懇談会で出た主な意見】

- ・生徒数が少ないことで部活動や体育の競技種目が制限される。
- ・小学校・中学校を小規模校で過ごすことで高校進学時の環境変化への対応が心配。
- ・小規模校ならではのメリットとして、授業での発表機会が多かったり、個に対応したきめ細やかな教育が受けられる。
- ・統合後の通学手段が心配。
- ・生徒数が多い方が切磋琢磨してよい。
- ・統合するためには時間をかけて両校の生徒が交流する必要がある。
- ・事前に統合までの流れを示してくれると安心できる。
- ・実際に学校に通う生徒の保護者の意見を優先してほしい。
- ・懇談会に出られない保護者の意見も聞いてほしい。



保護者アンケートの実施（H30.6）